

米子市スポーツ推進計画に掲げる施策の事業別実施状況

米子市スポーツ推進計画における施策	具体的事業内容	所管	令和5年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	令和5年度予算	令和5年度決算	次年度取組
基本方針Ⅰ 個々の適性や目的に応じたスポーツ活動の充実							
1 ライフステージ・適性に応じたスポーツ活動の推進							
(1) 子どものスポーツ活動の推進							
I-1 (1)-ア	ア 幼児期からの体力向上の推進 親子体力づくり大会	スポーツ振興課	スポーツの日に80組160名定員設定として開催した。参加人数は65組130名だったが、今後も社会情勢を見ながら競技団体と検討していきたい。	【親子体力づくり大会】 R5.10.9(スポーツの日) 参加者数 130人	開催委託料 38,500円	開催委託料 38,500円	継続
I-1 (1)-イ	イ 児童生徒のスポーツ活動の充実 少年スポーツ教室	スポーツ振興課	通年開催の少年スポーツ教室(7教室)を開催した。また、夏期の少年スポーツ教室は硬式テニスが発熱中症警戒アラート発令のため1日中止となった。参加者数は、令和4年度と比べ675人程度増加した。今後も子どもが安全にスポーツ活動へ参加できる機会を拡充していくことを念頭に、新規種目を増やすなどの魅力向上を図り教室を開催していきたい。	【少年スポーツ教室】 参加者数 13,292人 (内訳) 剣道 1,496人 柔道 2,221人 陸上競技 136人 ミニバス 322人 体操 393人 ラグビー 1,327人 ハンドボール 7,080人 夏期教室(ゴルフ) 33人 夏期教室(空手道) 32人 夏期教室(ボクシング) 39人 夏期教室(バウンスポール) 44人 夏期教室(硬式テニス) 39人 夏期教室(バドミントン) 94人 夏期教室(ダンススポーツ) 36人	開催委託料 422,500円 (内訳) 剣道 80,000円 柔道 80,000円 陸上競技 48,000円 ミニバス 48,000円 体操 48,000円 ラグビー 48,000円 ハンドボール 48,000円 ・夏期教室 ゴルフ 4,500円 空手道 18,000円 ボクシング 12,000円 バドミントン 18,000円 硬式テニス 18,000円	開催委託料 421,000円 (内訳) 剣道 80,000円 柔道 80,000円 陸上競技 48,000円 ミニバス 48,000円 体操 48,000円 ラグビー 48,000円 ハンドボール 48,000円 ・夏期教室 ゴルフ 3,000円 空手道 18,000円 ボクシング 12,000円 バドミントン 18,000円 硬式テニス 18,000円	継続
I-1 (1)-イ	イ 児童生徒のスポーツ活動の充実 小学生を対象とする各種大会	スポーツ振興課	小学生を対象とした少年野球大会、バレーボール大会及びスポーツ少年団交流大会の3大会を開催した。3大会とも昨年度よりも参加者数が増加しており、子どもたちのスポーツ活動がコロナ禍前の水準に戻りつつあることが見て取れる。今後は社会情勢を見ながら競技団体と連携した取組みを進め、多くの小学生に実戦経験や競技を通じた交流の場を提供していきたい。	【小学生スポーツ大会】 参加者数 613人 (内訳) 少年野球大会 14チーム 300人 小学生バレーボール大会 25チーム 265人 スポーツ少年団交流大会 48人	開催委託料 75,500円 (内訳) 少年野球大会 50,000円 小学生バレーボール大会 15,500円 スポーツ少年団交流大会 10,000円	開催委託料 75,500円 (内訳) 少年野球大会 50,000円 小学生バレーボール大会 15,500円 スポーツ少年団交流大会 10,000円	継続
I-1 (1)-イ	イ 児童生徒のスポーツ活動の充実 スポーツ少年団運営事業	スポーツ振興課	各スポーツ少年団の交流を目的とした「スポーツ少年団交流大会」を開催した。また、競技別交流大会(軟式野球)を開催したほか、県西部医師会や鳥取大学医学部附属病院と連携して「野球ひじ」の検診を開催し、青少年の健全育成を図った。交流大会の参加者数は減少傾向にあるが、再び多くの団員が競技種目の垣根を越えて交流できるよう企画の工夫が必要である。引き続き、子どもたちがスポーツに親しめる環境づくりに取り組む。	【スポーツ少年団交流大会】 R5.10.22 参加者数 48人 【市競技別交流大会】 軟式野球 10チーム 野球ひじの検診 242人	開催委託料 スポーツ少年団交流大会 10,000円	開催委託料 スポーツ少年団交流大会 10,000円	継続
I-1 (1)-ウ	ウ 学校体育・部活動の充実 運動部活動推進事業	学校教育課	【配置校】 東山中…女子卓球部、男子卓球部 弓ヶ浜中…男女剣道部 後藤ヶ丘中…女子新体操部、女子卓球部、男女柔道部、バレーボール部男子 福生中…男女バドミントン部、女子バスケットボール部 【成果】 外部指導者を活用することにより、より専門的な指導が可能になった。	実施校 4校 部活数 9	1,053,000円 (内訳) 報酬1,000,000円 (100,000×10人) 旅費34,000円 保険19,000円	補助金事業(県と市町で1/2) 合計 944,510円 (内訳) 市費 422,275円 県補助金 422,275円	補助金事業(県と市町で1/2)で継続

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	令和5年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	令和5年度予算	令和5年度決算	次年度取組
1 ライフステージ・適性に応じたスポーツ活動の推進								
(2) 成年期からのスポーツ活動の推進								
I-1-(2)	各種スポーツ大会	市民レガッタ、正月マラソン大会、ポッチャ大会、インディアカ大会、スキー大会など、年齢・経験を問わず、市民のだれもが気軽に参加しやすい大会を開催することにより、スポーツ活動の機会を提供し、生涯スポーツの推進を図ります。	スポーツ振興課	市民レガッタについては、コロナ禍で参加者を山陰地方在住者に限定していた制限を撤廃。全国から参加者を募集した結果、参加者数が約40人増えた。 その他の大会については、前年度に引き続きポッチャ、インディアカ、マラソンとスキーを実施。全体の参加者は前年と比べ大幅(403人)に増加した。ポッチャについては当課で行っている器具の貸し出し23件の実績があり、誰でも気軽に楽しめるスポーツとして徐々に浸透してきている。 今後も競技団体と連携し、次年度以降の対応を検討していきたい。	参加者数 1,071人 (内訳) 市民レガッタ 238人 ポッチャ交流大会 100人 正月マラソン 641人 インディアカ大会 50人 市民スキー大会 42人	開催委託料 83,000円 (内訳) 市民レガッタ19,000円 ポッチャ交流大会 9,000円 正月マラソン 19,000円 市民スキー大会 36,000円	開催委託料 83,000円 (内訳) 市民レガッタ19,000円 ポッチャ交流大会 9,000円 正月マラソン 19,000円 市民スキー大会 36,000円	継続
I-1-(2)	市民体育祭	公民館地区又は中学校校区単位のチームで参加できる野球、バドミントン、バレーボール大会などを開催し、競技スポーツに親しむ機会をつくることで、地域住民の交流及び地域のスポーツ活動の推進を図ります。	スポーツ振興課	新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことで、通年通りの8大会を実施した。 参加チーム数、参加者数が減少している大会もあるが、参加要項の見直し、年齢制限等の出場資格の緩和や1地区あたりの参加チーム数の枠を広げるなど競技団体と協議し、参加者の増加につなげたい。	参加チーム 90チーム 参加者数 773人 (内訳) ソフトボール 6チーム・120人 卓球 7チーム・78人 野球 5チーム・60人 バドミントン 4チーム・26人 バレーボール 9チーム・109人 ソフトテニス 4チーム・92人 グラウンド・ゴルフ 50チーム・283人 ゲートボール 8チーム・39人	開催委託料 284,000円 (内訳) ソフトボール 58,100円 卓球 24,900円 野球 37,700円 バドミントン 42,200円 バレーボール 50,900円 ソフトテニス 16,300円 グラウンド・ゴルフ 19,700円 ゲートボール 34,200円	開催委託料 284,000円 (内訳) ソフトボール 58,100円 卓球 24,900円 野球 37,700円 バドミントン 42,200円 バレーボール 50,900円 ソフトテニス 16,300円 グラウンド・ゴルフ 19,700円 ゲートボール 34,200円	継続
I-1-(2)	体づくり歩け歩け大会・体カテスト会	スポーツ推進委員が主体となり、健康増進のため、誰でも参加できる毎月1回のウォーキング(歩け歩け大会)、年間2回の体カテスト会を実施します。スポーツや体づくりへの関心を高め、気軽に運動に親しめる機会をつくり、生涯スポーツの推進を図ります。	スポーツ振興課	【体づくり歩け歩け大会】 令和5年度は12回全て実施した。 次年度以降も継続して実施し、市民が気軽にウォーキングに親しめる機会を提供していきたい。 【体カテスト会】 令和5年度は前期・後期とも実施し、延105人の参加があった。 次年度以降も継続して実施し、市民が気軽に自身の体力年齢を確認し、運動習慣を見直すことができる機会を提供していきたい。	【体づくり歩け歩け大会】 延参加者数 551人 【体カテスト会】 前期 83人 後期 22人	【体づくり歩け歩け大会】 計68,000円 旅費 56,000円 施設使用料 12,000円 【体カテスト会】 開催委託料 24,000円	【体づくり歩け歩け大会】 計50,800円 旅費 39,720円 施設使用料 11,080円 【体カテスト会】 開催委託料 24,000円	継続
1 ライフステージ・適性に応じたスポーツ活動の推進								
(3) 高齢者のスポーツ活動の推進								
I-1-(3)	がいなみっく予防トレーニング(通所型運動機能向上事業)	生活機能の低下が認められる高齢者を対象に、フィットネスクラブ、介護保険施設等で筋力トレーニング・有酸素運動・ストレッチ等を、理学療法士・作業療法士又は健康運動指導士により行います。運動することの楽しさを体感し、運動効果を理解してもらうことで、運動習慣につなげることを目指します。	フレイル対策推進課					令和4年度末廃止
I-1-(3)	ふらっと運動体操(通所型運動機能向上事業)	高齢者を対象に、ふれあいの里等、市内3箇所の施設に設置された運動トレーニング機器を開放し、予約なしでふらっと立ち寄り気軽に運動できる環境を整備することにより、運動することの楽しさを体感し、運動効果を理解してもらうことで、運動習慣につなげることを目指します。	フレイル対策推進課	各々のペースで、運動する雰囲気定着している。また、各会場で参加者同士の会話も見られ、仲間づくりにも繋がっている。 令和5年度から、フレイル予防拠点に加え市内29公民館において、教室の様子をオンラインで繋ぎ、リモート会場として展開。各公民館年間6回以上の開場を目標に行った。	①フレイル予防拠点分 【ふらっと】 延参加者数 3,509人 実施回数 108回 【リモート】 ・フレイル予防拠点間 延参加者数 1,983人 実施回数141回 ・市内29公民館 延参加者数 2,032人 実施回数260回 ②米子サン・アビリティーズ分 延参加者数 853人 実施回数 27回	①フレイル予防拠点3カ所分 委託料 24,483,000円 ②米子サン・アビリティーズ分 委託料891,000円	①フレイル予防拠点3カ所分 委託料 22,161,301円 ②米子サン・アビリティーズ分 委託料666,774円	継続
I-1-(3)	よなGO!GO!体操普及事業	高齢者が楽しく運動できるように「365歩のマーチ」の曲に合わせて、立ったり座ったりなど日常生活の動きを取り入れながら、普段動かさなくなった関節や筋肉を動かす体操です。よなGO!GO!体操を普及させ、高齢者が出来るだけ、長く健康でいきいきした生活を送れるよう、運動習慣のきっかけづくりとすることを目指します。	フレイル対策推進課	施策単独での報告は無し (Ⅱ-1 米子市健康づくり地域サポーター養成事業に含まれるため) また、よなGOGO体操の他、地域医療介護の各生活場面で一貫して実践できることを目的に考案したネバーギブアップトレーニング(通称ネギトレ)の普及に努めている。ネギトレは本市が鳥大病院、社会福祉法人こうほうえんと協同して作成したトレーニング集である。				継続

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	令和5年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	令和5年度予算	令和5年度決算	次年度取組
1 ライフステージ・適性に応じたスポーツ活動の推進								
(4) 障がい者のスポーツ活動の推進								
I-1-(4)	福祉大会等開催助成事業	鳥取県内で実施されている、さわやか車いすマラソン大会、手をつなぐスポーツ祭、アクアスロン皆生大会等の障がい者の各種大会の開催経費の一部を助成します。大会を通じて、障がい者がお互いの理解と親睦を深めると共に、積極的に社会参加する意欲を喚起することを目指します。また、市民の障がい者に対する正しい理解の啓発を図ります。	障がい者支援課	例年通り、さわやか車いすマラソン大会とアクアスロン皆生大会を開催することができた。3年ぶりに手をつなぐスポーツ祭を開催することができた。今までは東部で開催していたが、令和5年度からは東部、中部、西部の3か所で開催することとなった。	【さわやか車いすマラソン大会】 R5.9.9 開会式 R5.9.10 大会当日 参加者数：選手1200人、関係者600人 【手をつなぐスポーツ祭り】 【手をつなぐスポーツ祭り】 R5.11.11 参加者数：選手173人、保護者・引率87人、関係者・スタッフ102人 【アクアスロン皆生大会】 R5.10.9 参加者数：選手80人、ボランティア235人	【さわやか車いすマラソン大会】 70,000円(補助金) 【手をつなぐスポーツ祭り】 115,000円(補助金) 【アクアスロン皆生大会】 100,000円(補助金)	【さわやか車いすマラソン大会】 67,993円(補助金) 【手をつなぐスポーツ祭り】 115,000円(補助金) 【アクアスロン皆生大会】 100,000円(補助金)	継続
I-1-(4)	各種スポーツ・体操講座(障がい者福祉施設管理運営事業)	指定管理者の自主事業として、米子市心身障害者福祉センター又は米子サン・アビリティーズで、グラウンドゴルフ、ヨガ、卓球等の講座や、車椅子バスケットボール、風船バレーボール、3B体操等のスポーツを行います。スポーツを通じて体を動かす喜びを知ってもらうことで、身体能力の向上と仲間との交流を図ります。また、運動不足になりがちな方々の身体能力の回復を図ります。スポーツ大会の際には、障がいのない人がボランティアとして参加するなど、障がいのある人とない人の交流促進を図ります。	障がい者支援課	指定管理者の自主事業として、米子市心身障害者福祉センター又は米子サン・アビリティーズで、グラウンドゴルフやサウンドテーブルテニス、車いすバスケットボール、風船バレーボール等のスポーツを行った。	グラウンドゴルフ 48回 サウンドテーブルテニス 24回 車いすバスケットボール 9回 風船バレーボール 21回 車いすアーチェリー 47回	指定管理料(自主事業費) 1,400,000円の一部	指定管理料 248,500円(内訳) グラウンドゴルフ 0円 サウンドテーブルテニス 180,000円 車いすバスケットボール 13,500円 風船バレーボール 31,500円 車いすアーチェリー 23,500円	継続
I-1-(4)	米子市こころの広場事業	在宅療養中で、精神に障がいのある方が、体育施設等でスポーツ(卓球、バドミントン、風船バレー等)を行うことで、他者との交流を図ります。	障がい者支援課	6月には米子サン・アビリティーズにて、卓球バレーを実施した。米子サン・アビリティーズの職員がルール説明と審判を行った。 2月にはふれあいの里にて健康対策課の作業療法士によるフレイル予防体操、吹き矢の体験を実施。負荷が少なめの体操を選んで実施したので無理なく参加できた。	【ポッチャ体験】 R5.6.15 参加者数13人(うちボランティア4人) 【ネギトレ、脳トレ】 R6.2.15 参加者数12人(うちボランティア7人)	【ポッチャ体験】 米子サン・アビリティーズの職員への報酬はなし 【ネギトレ、脳トレ】 健康対策課の作業療法士への報酬はなし	【ポッチャ体験】 米子サン・アビリティーズの職員への報酬はなし 【ネギトレ、脳トレ】 健康対策課の作業療法士への報酬はなし	継続
2 誰もが親しみやすいスポーツ活動の推進								
I-2	ユニバーサルスポーツ普及事業	各競技団体と連携し、風船バレー、スポーツ吹き矢、スポーツチャンバラ、ポッチャ、ウォーキングサッカー等を公民館で実施することで、生涯スポーツの推進やスポーツを通じた地域住民の交流を図ります。	スポーツ振興課	ポッチャ教室では8公民館(永江、宇田川、大和、尚徳、義方、啓成、車尾、彦名)から申し込みがあり実施した。健康ボクシングは、3公民館(福生東、車尾、彦名)から申し込みがあり実施した。また令和5年度から実施種目に卓球バレーには1公民館(就将)から申し込みがあり実施した。ユニバーサルスポーツの普及と公民館でのスポーツを通じた交流に寄与した。次年度以降も、競技団体との連携により、各公民館の希望にあわせた教室を実施したい。	【ポッチャ教室】 8回実施 延参加者数 183人 【健康ボクシング教室】 3回実施 延参加者数 22人 【卓球バレー】 1回実施 延参加者数 28人	委託料 60,000円 (5,000円×12回)	【ポッチャ教室】 委託料 40,000円 (5,000円×8回) 【健康ボクシング教室】 委託料 15,000円 (5,000円×3回) 【卓球バレー】 委託料 5,000円 (5,000円×1回)	継続

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	令和5年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	令和5年度予算	令和5年度決算	次年度取組
基本方針Ⅱ スポーツ活動によるコミュニティづくりと地域振興								
1 地域のスポーツ活動の推進								
Ⅱ-1	スポーツ推進委員協議会運営事業	米子市スポーツ推進委員協議会を運営し、スポーツ推進委員により、住民に対するスポーツの実技の指導その他、スポーツに関する指導及び助言を行うことで、地域でのスポーツ活動の活性化に向けた取り組みを行い、生涯スポーツの推進を図ります。	スポーツ振興課	【スポーツ推進委員協議会】 令和5年度は体づくり歩け歩け大会、体カテスト会、ポッチャ交流大会及び機関紙の発行等、計画していた全ての事業を実施することができ、市民が気軽にスポーツに親しむことができる機会を創出することができた。 また、スポーツ推進委員を対象としたニュースポーツ講習会(モルック、前後期の2回)及び救急救命研修を実施し、生涯スポーツの推進に向けて必要な知識や技能の習得を図った。 次年度以降も、スポーツ推進委員協議会の運営を通じ、生涯スポーツの推進を図っていきたい。	【ポッチャ交流大会】 参加者 100人 【ニュースポーツ講習会(モルック)】 前期 32人 後期 34人 【救急救命研修】 参加者数 33人	スポーツ推進委員協議会運営費(委員報酬) 2,164,600円 補助金(全国スポーツ推進委員研究協議会旅費) 111,770円 ポッチャ交流大会開催委託料 9,000円	スポーツ推進委員協議会運営費(委員報酬) 2,164,600円 補助金(全国スポーツ推進委員研究協議会旅費) 111,570円 ポッチャ交流大会開催委託料 9,000円	継続
Ⅱ-1	学校体育施設開放事業	小中学校の体育館やグラウンドを学校運営に支障のない範囲で地域に開放します。学校体育施設を有効活用することにより、地域住民にスポーツ活動の場を提供し、地域でのスポーツの活性化を図ります。	こども施設課	学校運営に支障のない範囲で学校体育施設を地域に開放した。 また、令和5年度に施設予約システム及び遠隔鍵管理システムを導入し、3月よりシステムの試験運用を開始するとともに既存登録団体に対し利用者説明会を開催した。 今後、予約システム等の運用開始に伴い、新規参入団体への利用方法の説明や、デジタル弱者に対する窓口対応などのサポートが必要となる。	【利用実績】 小学校 14,494件、341,548人 中学校 2,156件、36,027人 【学校当たり平均実績】 小学校(23校) 630件、14,849人 中学校(11校) 196件、3,275人 【施設予約システム導入に係る説明会】 4日間開催し、226団体が出席	【消耗品費】 小学校 596,000円 中学校 192,000円 【印刷製本費】 小学校 97,000円 中学校 49,000円 【修繕料】 小学校 700,000円 中学校 545,000円 【委託料】 無線通信ネットワーク環境整備 業務・オンライン利用予約及び鍵管理等導入業務 小学校 11,698,000円 中学校 4,976,000円	【消耗品費】 小学校 477,059円 中学校 168,559円 【印刷製本費】 小学校 78,540円 中学校 0円 【修繕料】 小学校 168,300円 中学校 502,700円 【委託料】 無線通信ネットワーク環境整備 業務・オンライン利用予約及び鍵管理等導入業務 小学校 11,536,601円 中学校 5,093,199円	継続
Ⅱ-1	やって未来や塾(米子市地域健康づくり応援事業)	地域住民を対象に、健康運動指導士が運動を主体とした健康づくりのための運動指導及び活動支援を行います。地域住民が、自主的な活動として楽しく継続的に取り組んでいくことを支援し、運動を主体とした健康づくりを図ります。	フレイル対策推進課	継続的支援、新規立ち上げ支援を行った。 年3回運動等の内容についての支援を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止による活動自粛要請のため、支援回数は少なくなった。 新規の立ち上げは1か所であった。	【新規活動支援】 1ヶ所、3回 延参加者数 21人 【継続活動支援】 32カ所、93回 延参加者数 1,339人	委託料 750,070円	委託料 489,000円	継続
Ⅱ-1	米子市健康づくり地域サポーター養成事業	地域で運動を主体とした健康づくり活動をしたい方が、「健康づくり地域サポーター」として、地域で健康づくり活動を推進していきます。地域サポート講座や研修会等で得た介護予防に関する知識の地域への普及、「よなGOGO体操」の普及活動、地域の体力測定会やサロンでの健康づくり活動のサポートなどを行うことで、地域全体での高齢者を支える仲間づくりをすすめ、地域での健康づくりを目指します。	フレイル対策推進課	地域サポート講座基礎編を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大の予防対策をしながら、いかに地域での活動につなげられるか講義及び話し合いを行った。サポーターの平均年齢が高くなっており、若いサポーターの確保とともに、サポーターの役割を再構築し、新規のサポーターを育成できるような体制を整える必要がある。	【基礎編】 1回 参加者数 77人	報償費 46,800円 消耗品費 99,000円 燃料費 13,816円 印刷製本費 7,777円 通信運搬費 119,400円 委託料 32,001円	燃料費 13,816円 印刷製本費 5,280円 通信運搬費 24,676円	継続

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	令和5年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	令和5年度予算	令和5年度決算	次年度取組
2 スポーツに触れる機会の提供・スポーツツーリズムの推進								
II-2	プロスポーツの支援活動	地元で活躍するプロスポーツチームの活動を応援し、また、競技、チームに関する情報発信や、ホームゲームに合わせてイベントを開催するといった、市民にプロスポーツをより身近に感じてもらえるような機会の提供に努めます。	スポーツ振興課	ガイナール鳥取ホームタウンデーでモルックやボルダリング、ピラティス、ボッチャなど誰でも楽しく体を動かせるイベントを開催し、親子連れを中心にファン層の拡大に努めた。	【ガイナールホームタウンデイイベント】 R5.10.8(日)	消耗品費67,000円	消耗品費 41,823円	継続
II-2	全日本トライアスロン皆生大会	日本トライアスロン発祥の大会であり、本市を発着点として鳥取県西部一円で開催されています。大会では毎年4,000名を超えるボランティアが参加し、市民と選手が直接触れ合う機会となっています。この大会の開催を支援し、観光資源として活用することにより、誘客を促進し、地域振興を図ります。	スポーツ振興課	4年ぶりにコロナ禍前と同規模で大会を開催することができ、全国から延べ1,079人の選手が参加した。大会当日は最高気温が37度の酷暑日で個人の完走率が7割を切った(67%、626人)。皆生トライアスロン協会と連携しながら、熱中症対策の強化した上で、今後も大会を維持し、安全・安心な形で開催できる方策を検討していく必要がある。	【全国トライアスロン皆生大会】 参加選手 1,079人	補助金 10,000,000円	補助金 9,966,289円	継続
II-2	皆生・大山SEA TO SUMMIT	日本海から大山山頂までをカヤック・自転車・登山の3種目で目指す体験型環境スポーツイベントで平成27年には200名以上の方が参加しています。この大会の開催を支援し、観光資源として活用することにより、誘客を促進し、地域振興を図ります。	スポーツ振興課	当初の計画どおり開催した。本イベントは、この地域を代表するスポーツツーリズムの大会であり、地域振興に資するものであることから、モンベル、鳥取県、大山町及び日吉津村と連携を図り、今後の継続開催に向けて準備を進めていきたい。	【皆生・大山SEA TO SUMMIT2023】 参加者数 149人	事業運営負担金 300,000円	事業運営負担金 300,000円	継続
II-2	サイクルスポーツ推進事業	大山山麓・日野川流域観光推進協議会及び近隣市町村等と連携し弓ヶ浜サイクリングコースを活用した魅力発信事業を展開します。また、観光誘客向けのガイド育成やハード整備等に力を注ぐことによりナショナルサイクルルート認定に向けた取組を推進すると共に、サイクルスポーツを通じた地域の活性化を図ります。	観光課	「大山山麓・日野川流域観光推進協議会事業」の中で、サイクリスト聖地化事業を実施し、外国人観光客を迎えるための「おもてなしセミナー」の開催、ツアーの商品化及び販売に向けた準備など、誘客促進につながる取組を実施した。弓ヶ浜サイクリングコースについては、中四国エリアのケーブルテレビの番組で同サイクリングコース及び沿線のレンタサイクル、周辺の観光スポットや飲食店を紹介し、誰でも気軽にサイクリングや観光ができるコースの魅力発信し、誘客促進を図った。また、日吉津村と連携し、YONAGOサイクルカーニバルin YODOE2023の開催支援を行うことで、圏域内の機運醸成と魅力発信を行った。	○大山山麓・日野川流域観光推進協議会事業 「おもてなしセミナー」 主催：大山時間との連携事業 開催日：令和5年11月27日 参加者：12事業所16人 「テレビ番組『ぐるぐる中四国(中海テレビ制作)』でのPR」 主催：つなぐ！米境プロジェクト実行委員会 放映：令和5年10月 プレゼントキャンペーン応募者：4,389人 「YONAGO サイクルカーニバル in YODOE 2023」 主催：米子日吉津商工会 開催日：令和5年9月9日 参加者：299人	米子市負担金1,000,000円 ※本事業を含めた計5事業分の負担金額となっている。 米子市負担金 500,000円 米子市負担金 500,000円	米子市負担金424,611円 ※本事業を含めた計5事業分の負担金額となっている。 米子市負担金492,495円 米子市負担金500,000円	継続

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	令和5年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	令和5年度予算	令和5年度決算	次年度取組
基本方針Ⅲ スポーツ環境の充実								
1 競技力の向上								
Ⅲ-1	スポーツ協会運営事業	米子市スポーツ協会を運営し、スポーツ団体との連絡調整を行い、優秀な成績を収めた競技者を表彰するなどして、各種スポーツの振興を図るとともに、各競技団体の競技力向上を図ります。	スポーツ振興課	米子市スポーツ協会として、以下の事業を実施した。 ・10種目のスポーツ教室、9種目のスポーツ大会、8種目の市民体育祭を加盟団体に委託して実施することにより、市民体育行事への推進と協力を図った。 ・鳥取県民スポレク祭実行委員会に参画し、加盟団体に対し参加の呼びかけと参加者の取りまとめを行った。 ・県大会以上の大会で優れた成績を挙げた小学生から一般の選手について、加盟団体からの推薦に基づき選考し、表彰した。	【鳥取県民スポレク祭参加者実績】 1,004人 【スポーツ表彰事業】 個人 154人 団体 37団体 【小学生全国大会出場激励金交付事業】 個人 20人 団体 8団体	米子市スポーツ協会補助金 73,000円 市民体育祭委託料 284,000円 市主催大会・教室委託料 675,000円	米子市スポーツ協会補助金 73,000円 市民体育祭委託料 284,000円 市主催大会・教室委託料 675,000円	継続
2 スポーツ施設等の充実								
Ⅲ-2	体育施設管理運営事業	体育施設については、各種スポーツ大会の会場及び災害時の避難所となるため、危険箇所および老朽箇所の改修を行い、利用者に安全・快適に体育施設を利用してもらえるよう管理運営に努めます。	スポーツ振興課	・市民体育館 令和4年度に選定したアドバイザーの支援を受けながら、PFI事業者の公募から事業契約締結に至る各種手続きを実施した。PFI事業契約の相手方については、「米子新体育館整備等事業者選考委員会」において選考を行った。 ・東山公園 園路に照明を増設し、夜間通行時の安全性強化を図った。 また、老朽化により破損していた木橋の撤去を行った。 ・米子市民球場 令和6年度の工事実施に向け、スコアボード、放送設備、屋外照明LED化の調査設計を行った。 ・淀江体育館 老朽化が進み修繕の必要性が生じていた軒裏の改修工事を実施した。 また、大会運営時の快適な環境確保に向け、会議室への空調設置工事を行った。	【市民体育館】 米子新体育館整備等事業PFI事業者選定アドバイザー業務委託 【東山公園】 東山公園園路照明設置工事 東山公園木橋撤去工事 【米子市民球場】 スコアボード、放送設備、屋外照明LED化調査設計 【淀江体育館】 淀江体育館軒裏改修工事 淀江体育館会議室空調設備設置工事	【米子新体育館整備等事業PFI事業者選定アドバイザー業務委託】 9,768,000円 【東山公園園路照明設置工事】 9,279,600円 【東山公園木橋撤去工事】 451,000円 【スコアボード、放送設備、屋外照明LED化調査設計】 100,623,552円 【淀江体育館軒裏改修工事】 26,000,000円 【淀江体育館会議室空調設備設置工事】 6,200,000円	【米子新体育館整備等事業PFI事業者選定アドバイザー業務委託】 9,768,000円 【東山公園園路照明設置工事】 9,279,600円 【東山公園木橋撤去工事】 451,000円 【スコアボード、放送設備、屋外照明LED化調査設計】 15,769,000円 【淀江体育館軒裏改修工事】 20,968,200円 【淀江体育館会議室空調設備設置工事】 4,428,600円	継続
3 心身の安全・安心の確保								
Ⅲ-3	スポーツ協会運営事業(再掲) スポーツ少年団運営事業(再掲)	各競技団体や県スポーツ協会、各学校と連携し、指導者の育成を行い、スポーツ実施者にとって安全・安心なスポーツ環境の提供を図ります。	スポーツ振興課	県西部のスポーツ少年団指導者を対象に、熱中症予防をテーマにした講習会を開いた。熱中症対策の普及などを目的に市と包括連携協定を結ぶ大塚製薬(株)に講師の派遣を依頼し、適切な水分補給の方法や暑さに体を慣れさせる「暑熱順化」について学ぶ場を設けた。 最高気温が30度を超える期間が長期化しており、今後も大会や体験会などスポーツイベントの開催にあたっては、開催場所や期間など熱中症対策を考慮して実施しなければならない。	令和6年2月17日開催 参加者27人(うち市内19人)	・西部地区指導者研修会 50,000円 ※県スポーツ協会からの助成	・西部地区指導者研修会 21,696円	継続

《参考資料》

基本方針 I-1-(1) 子どものスポーツ活動の推進

【親子体づくり大会】

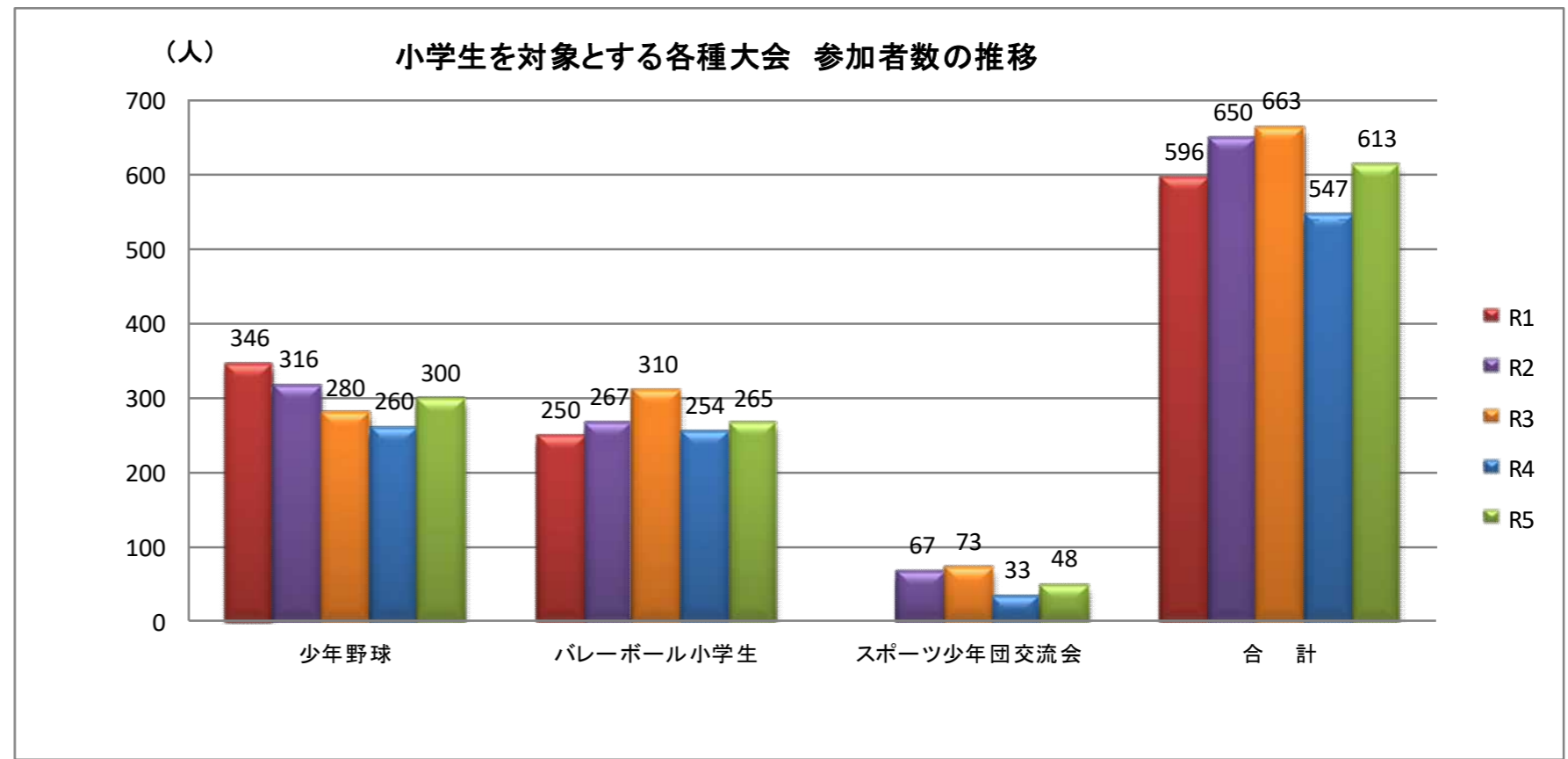
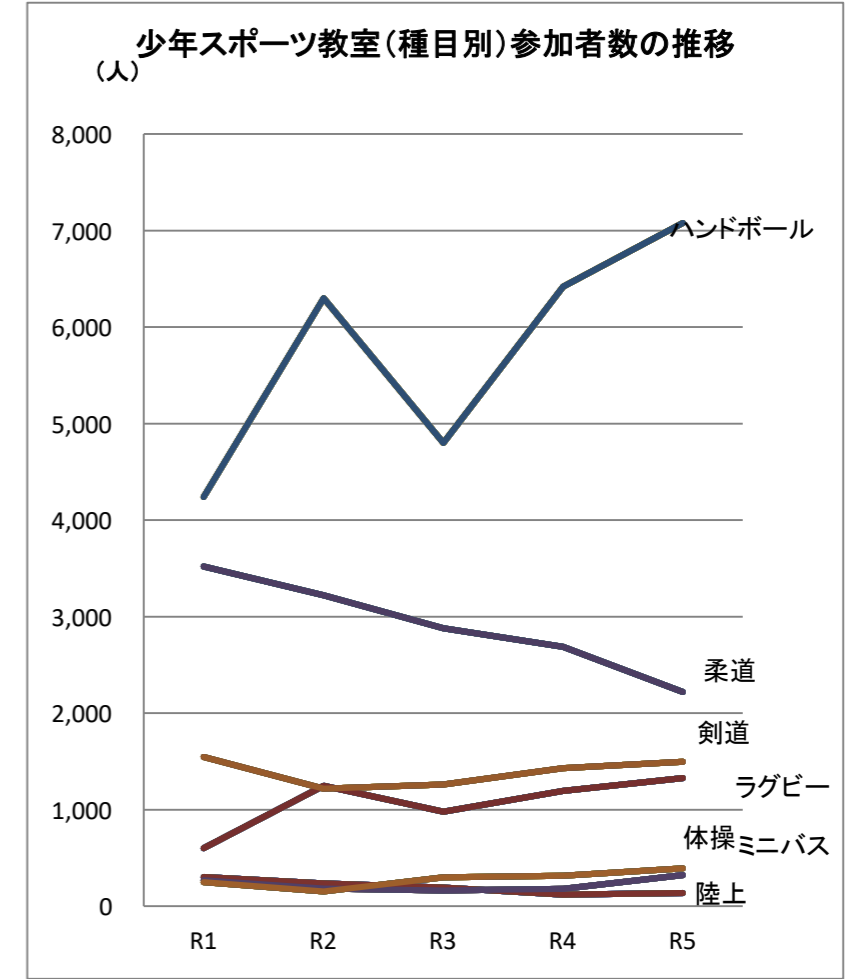
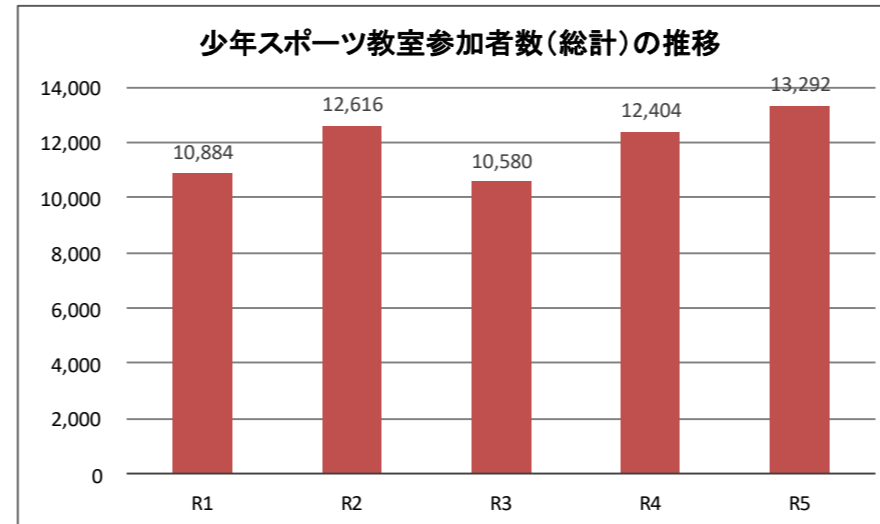
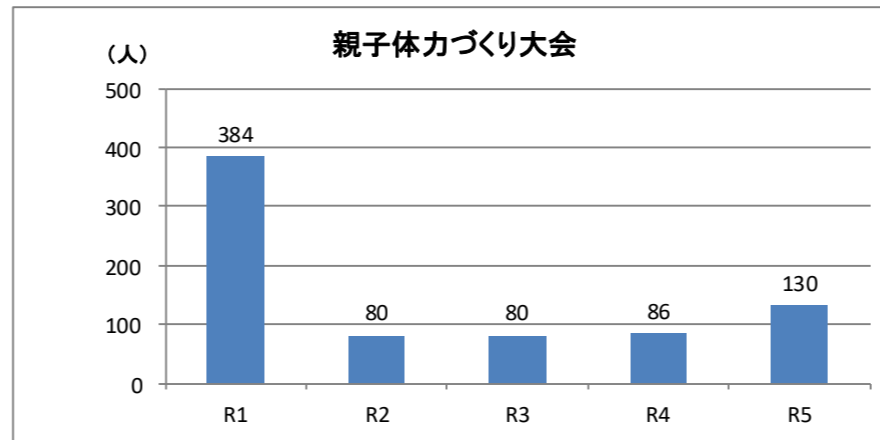
種目	区分	R1	R2	R3	R4	R5
親子体づくり大会	子ども	192	40	40	43	65
	親	192	40	40	43	65
	計	384	80	80	86	130

【少年スポーツ教室】

種目	区分	R1	R2	R3	R4	R5
ラグビー	回数	31	33	29	64	69
	人数	601	1,247	981	1,195	1,327
柔道	回数	128	128	126	141	139
	人数	3,521	3,220	2,880	2,689	2,221
剣道	回数	123	120	117	132	125
	人数	1,545	1,218	1,260	1,430	1,496
ハンドボール	回数	118	126	154	162	177
	人数	4,240	6,300	4,800	6,420	7,080
陸上	回数	10	8	6	6	7
	人数	302	237	194	122	136
ミニバスケットボール	回数	10	9	7	7	9
	人数	271	184	165	180	322
体操	回数	8	7	7	11	10
	人数	251	154	300	315	393
テニス	回数	3	1	中止	中止	1
	人数	81	34	中止	中止	39
バドミントン	回数	3	中止	中止	中止	3
	人数	54	中止	中止	中止	94
空手道	回数	3	3	中止	2	2
	人数	18	22	中止	17	32
ダンススポーツ (R4~)	回数				中止	3
	人数				中止	36
バウンスボール (R4~)	回数				中止	4
	人数				中止	44
ゴルフ(R4~)	回数				1	1
	人数				23	33
ボクシング (R4~)	回数				4	4
	人数				13	39
合計	回数	434	432	446	528	549
	人数	10,884	12,616	10,580	12,404	13,292

【小学生を対象とする各種大会の開催】

種目	区分	R1	R2	R3	R4	R5
少年野球	チーム数	17	21	18	16	14
	人数	346	316	280	260	300
バレーボール小学生	チーム数	26	29	28	24	25
	人数	250	267	310	254	265
スポーツ少年団交流会	人数		67	73	33	48
合計	チーム数	43	50	46	40	39
	人数	596	650	663	547	613



《参考資料》

基本方針Ⅰ-1-(2) 成年期からのスポーツ活動の推進

【各種スポーツ大会】

種目	区分	R1	R2	R3	R4	R5
市民レガッタ	チーム数	67		8	33	48
	人数	425		50	200	238
インディアカ	チーム数	12	12	12	8	10
	人数	67	68	68	41	50
ドッチビー大会(～H30) ポッチャ(R1～)	チーム数	21		30	21	26
	人数	74		116	78	100
正月マラソン	チーム数					
	人数	1,100			310	641
スキー	チーム数					
	人数	40	89		39	42
合計	チーム数	100	12	50	62	84
	人数	1,706	157	234	668	1,071

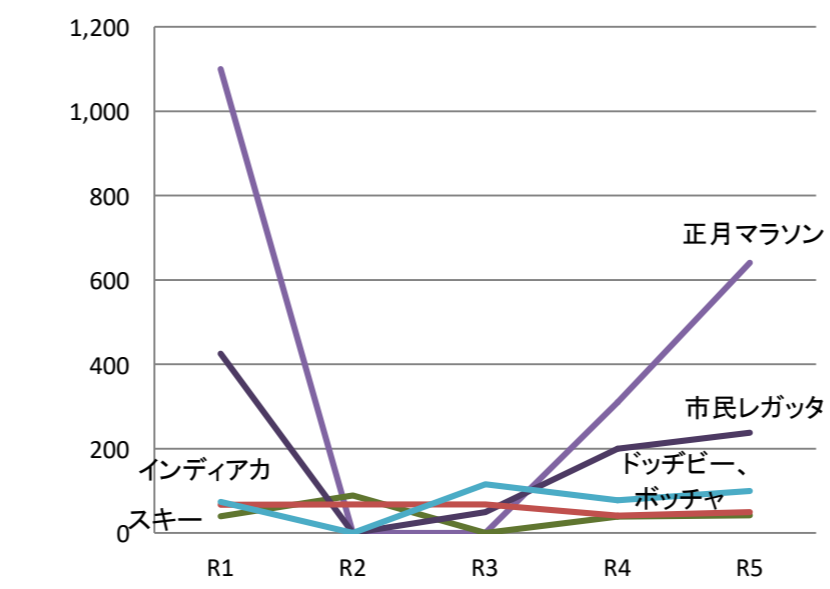
【体カづくり歩け歩け大会・体カテスト会】

種目	区分	R1	R2	R3	R4	R5
体カテスト会	回数	2			2	2
	人数	48			73	105
体カづくり歩け歩け大会	回数	11	4	8	12	12
	人数	339	123	270	502	551
合計	回数					
	人数	387	123	270	575	656

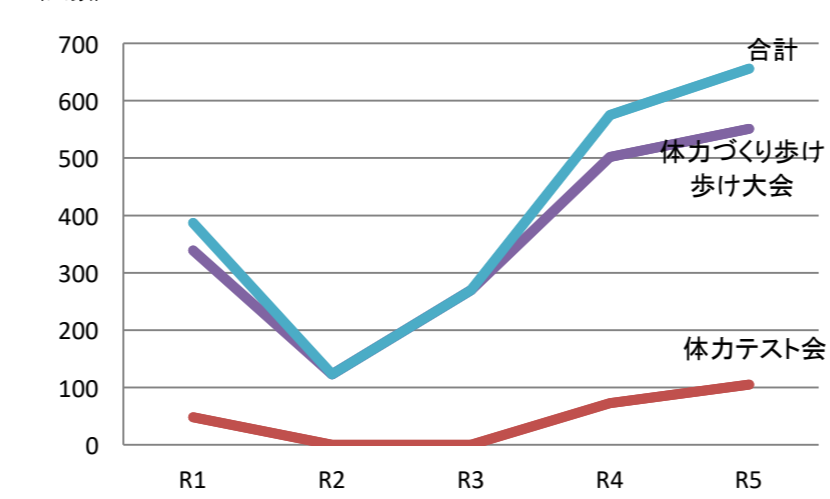
【市民体育祭】

種目	区分	R1	R2	R3	R4	R5
ソフトボール	チーム数	6		4	6	6
	人数	135		56	70	120
卓球	チーム数	11		6	7	7
	人数	147		63	70	78
バドミントン	チーム数	4	7	6	4	4
	人数	33	47	42	35	26
バレーボール	チーム数	14		9		9
	人数	172		128		109
ソフトテニス	チーム数	10		5	5	4
	人数	150		72	81	92
グラウンドゴルフ	チーム数	70		57	51	50
	人数	378		317	295	283
野球	チーム数	10	6		4	5
	人数	207	115		44	60
ゲートボール	チーム数	13		10	10	8
	人数	77		57	60	39
合計	チーム数	138	13	97	87	93
	人数	1,299	162	735	655	807

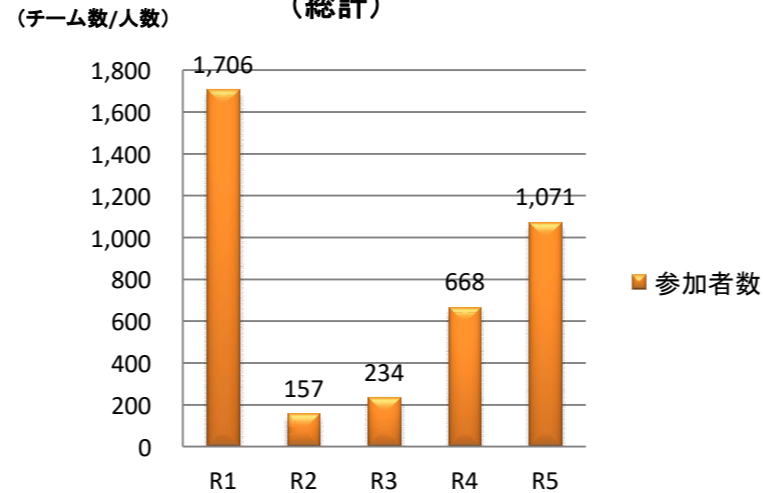
各種スポーツ大会参加者数の推移(種目別)



スポーツイベント参加者数の推移



各種スポーツ大会 参加者数の推移(総計)

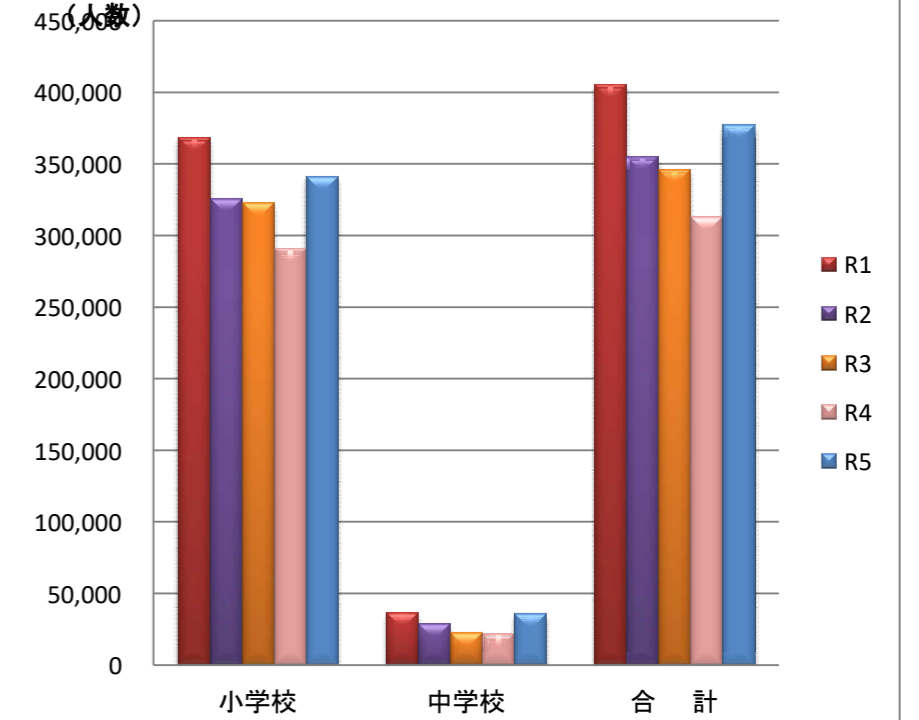


基本方針Ⅱ-1 地域のスポーツ活動の推進

【学校体育施設開放事業】

種目	区分	R1	R2	R3	R4	R5
小学校	チーム数	16,558	15,517	14,550	13,419	14,494
	人数	368,440	325,790	323,165	291,054	341,548
中学校	チーム数	2,449	2,035	1,636	1,657	2,156
	人数	37,018	29,216	22,870	21,892	36,027
合計	チーム数	19,007	17,552	16,186	15,076	16,650
	人数	405,458	355,006	346,035	312,946	377,575

学校体育施設利用状況(人数)



基本方針Ⅲ-1 競技力の向上

【体育協会運営事業/体育表彰】

受賞名	種別	R1	R2	R3	R4	R5
体育功労賞	個人	8	7	7	7	5
優秀指導者賞	個人	3	4	2	4	1
スポーツ栄誉賞	個人	7	7	2	5	5
スポーツ特別賞	個人	4	2	2	1	3
スポーツ賞	個人	67	42	8	42	59
スポーツ賞	団体	14	13	3	13	8
スポーツ奨励賞	個人	114	113	61	64	81
スポーツ奨励賞	団体	30	45	12	30	29
合計	個人	203	175	82	123	154
	団体	44	58	15	43	37